

公益社団法人愛知県医師会 第26回(定例)理事会議事録

開催日時：平成28年12月8日(木) 午後2時30分～午後4時45分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／横井 隆 城 義 政

理事／吉田 貴 伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗

榎尾富二 樋口俊寛 伊藤富士子 瀬瀬雅明 細川秀一

森 孝生 野田正治 林 義久 羽生田正行 浅井清和

監事／川上雅正 野口良樹

代議員会議長／伊藤 宣 夫

代議員会副議長／杉田洋一 山本 楯

欠席者

副会長／市川 朝 洋

監 事／可世木成明

議事録作成者 加藤 結 花

※榎尾理事遅刻のため、承認事項および協議事項については、22名(うち理事17名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①一般社団法人瀬戸旭医師会(会長 黒江幸四郎)の行う日医認定産業医研修会
[H29.2/15(水)]の共催について

加藤理事より説明され、承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1～5の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	12/28(水)	第9回愛知県医師会地域医療政策研究機構	5階医師連盟会議室	伊藤(健)理事 大輪理事
2	H29. 1/16(月)	第2回精度管理委員会	804会議室	加藤理事 樋口理事
3	H29. 1/31(火) 2/13(月) 3/10(金) 3/23(木) 3/29(水)	患者・家族のつどい 障害年金勉強会① 障害年金勉強会② 難病のある人の就労勉強会 神経難病の排泄ケア 網膜色素変性症のつどい	6階研修室 801・802会議室 6階研修室 803・804会議室 801・802会議室	樋口理事 細川理事
4	H29. 2/8(水)	精度管理研修会	9階大講堂	加藤理事 樋口理事
5	H29. 3/5(日)	平成28年度学校保健シンポジウム	9階大講堂	額額理事 吉田理事

3. 平成29年度愛知県看護功労者表彰候補者について

大輪理事より説明され、例年の通り推薦基準に愛知県医師会独自の基準を加えて、候補者の推薦を地区医師会に依頼することが承認された。

4. 警察部会幹事会幹事の変更について

細川理事より説明され、愛知県警察本部の人事異動により、顧問：留置管理課課長 高木剛志(たかぎ たけし)氏から、相木三登志(あいき さとし)氏へ、オブザーバー：留置管理課指導室長 坂巻行正(さかまき ゆきまさ)氏から、今枝克之(いまえだ かつゆき)氏への変更が承認された。

—協議事項—

5. 難病研究者表彰(案)について

加藤理事より説明され、平成29年3月18日(土)に行われる第178回(臨時)代議員会にて、4名の先生方の表彰を行うことが承認された。

6. その他

- ・愛知県医師会交響楽団第35回定期演奏会〔H29.2/19(日)〕のご案内

加藤理事より説明され、費用弁償よりチケット代を支払うこと及びチャリティ先を「NPO 法人 あいち骨髄バンクを支援する会」とすることが了承された。

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医平成 28 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会 [11/26(土)] について

(日本医師会主催・大阪府医師会担当：リーガロイヤルホテル大阪)

伊藤(健)理事より、今年度の担当は大阪府医師会で、メインテーマ「2025 年問題と勤務医の役割」と題して開催され、午前は、横倉会長から地域包括ケアについて、厚労省保険局 迫井医療課長から地域医療構想について特別講演があった。内容は、2015 年から 2025 年までの各地域の高齢化率について、全国高齢者 20 年の追跡調査による自立度の変化パターン、地域包括ケアシステムの構築の背景、地域医療構想の必要性等についてであったと説明された。

高齢化率については、2030 年頃をピークとして減少していくであろう。自立度については、70 歳頃を境に男女とも減少していくが、90 歳時点での男性の 10.9%が自立しているが、女性については 0%であったと説明された。午後には、「医療事故調査制度」「女性医師の働きやすい環境づくり」をテーマにシンポジウムが行われ、最後におおさか宣言が採択されたと説明された。

また、来年度の担当は北海道医師会で、平成 29 年 10 月 21 日(土)に開催予定であると報告された。

2. 日医第 2 回産業保健委員会 [12/1(木)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

西山理事より、議事 1) 第 7 回産業医制度の在り方に関する検討会(厚労省)の件については、時代の変遷と共に産業構造の主要な課題が変化し、産業医の職務が増大しているため、月 1 回義務づけられている職場巡視を、2 ヶ月に 1 回にしたかどうか等の意見があった。2) 会長諮問に対する提案としては、現状を把握するため、産業医活動並びにストレスチェック制度に関するアンケート調査を行うこととなった。また、医療勤務環境改善支援センターとの連携をどうするかという提案が、勤務医の健康支援に関する検討委員会のメンバーよりあったと報告された。

3. 日医平成 28 年度大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 [12/2(金)] について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、会長挨拶は今村聡副会長が代読したと説明された。昨年からは日本医学会連合との共催で開催され、2 大学・2 学会より事例発表がなされた。北大では病児に対する親の欠勤日数調査、和歌山医大では地域医療枠の性別、日本産科婦人科学会では産科当直に対する問題、常勤先の無い医師等について、問題提起があったと報告された。

4. 日医平成 28 年度家族計画・母体保護法指導者講習会〔12/3(土)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、現状では、母体保護法に関して重要な問題がないので今回の講習会では、母体保護法とは直接関連はないが産婦人科領域で重要な課題が講習内容となったと説明された。次第に沿って会が進行し、講演(地域医療構想に向けての医師会の取り組み)とシンポジウム(周産期医療体制の確保に向けて)が行われたと説明された。

5. 日医平成 28 年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会〔12/1(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

森理事より、日医医賠償保険制度の変更点の詳細、医療事故調査制度の最近の動き等の報告があったと説明された。都道府県医師会より付託された案件は、医賠償調査委員会で審議・判定後、賠償責任審査会で最終決定する。医療事故調査制度の目的は、医療事故の再発防止を行うことであるとともに、患者・家族との信頼関係を構築することが大切であると説明された。また、1,000もの支援団体があり、支援内容としては、「制度全般に関する相談」「医療事故の判断に関する相談」「調査に関する支援」であると説明された。

6. 日医医療安全対策委員会〔12/2(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

森理事より、医療事故調査制度における委員の紹介、院内事故調査を担う人材の育成について議論を行ったと報告された。会員数の少ない医師会は、医療事故件数及び内容について等、かなりの割合で把握しているが、会員数の多い医師会については、把握できていないのが現状であると説明された。

円滑な制度運用に向け、医療事故に該当するかの判断、知識・技能の修得、制度についての正しい理解、指導できる人材の育成が重要であることから、支援団体統括者向けには、前期、後期と分け「支援団体統括者セミナー」を開催し、医療機関管理者向けには、「トップセミナー」を全国7会場で実施し、中部地区では平成 29 年 1 月 25 日(水)に開催すると説明された。

柵木会長より、愛知県は、医療安全全般については全国トップレベルであり、他県より一目置かれている。レベルを落とすことなく堅持していくよう要請された。

【本会関係会議について】

7. 勤務医部会幹事会〔11/16(水)〕について

(803・804 会議室)

伊藤(健)理事より、日医勤務医委員会及び中部医連委員総会勤務医特別委員会分科会の報告を行ったと説明された。また、フリートークでは「研修医の採用数」「近隣薬局からの疑義照会への対応」について討論したと説明された。

8. 第8回愛知県医師会地域医療政策研究機構〔11/28(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、独立行政法人国立がん研究センターの石川ベンジャミン光一先生にご出席いただき、データの分析方法についての質疑応答を行ったと報告された。

9. 社保指導委員会〔11/29(火)〕について

(801～803会議室)

加藤理事より、個別指導(9月16日～11月25日)及び新規個別指導(9月～11月)の報告が資料に基づきなされたと報告された。

10. 調査室委員会〔11/22(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、実態調査の追加設問について協議したと報告され、来年度の調査室だよりについては実態調査の結果解説を順次行っていく予定となったと説明された。また、12月27日(火)の委員会については緊急の案件がない限り休会とすることとなったと報告された。

11. 調査室委員会〔11/29(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、実態調査の解説分担を決定したと報告された。新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会については、骨太の方針2016で、年内に取り纏めをすることが経済財政諮問会議で決められており、現時点で4回検討会が開催されている。12月初旬に10万人の医師を対象としてアンケート調査を実施し、来年には調査結果を含めた中間取りまとめをし、それに基づき、看護師、医師の需給についての計画の立て直しを図ることとしていると説明された。また、医師法第17条を始めとする解釈については、医療機関以外の施設において、医師資格、看護師資格を持たない者に対して医療行為としない範囲の解釈について精査した上、愛医通信で周知することとしたと説明された。その他、今後の調査室委員会での議題について話し合い、MEDIFAX記事、Twitter記事についても解説、意見交換を行ったと説明された。

12. 産業保健部会幹事会〔11/25(金)〕について

(6階研修室)

西山理事より、平成29年度産業医傷害保険(案)について協議し、原案どおり承認され、日医産業保険委員会及び第38回産業保健活動推進全国会議について、資料に沿って報告された。歯科医師会の佐藤幹事より【一口腔から全身の健康を一「糖尿病と歯周病」の関連】について資料による情報提供があった。また、産業医の

職務内容が本来あるべき方向性と違ってきており、職務内容の再周知について、次回開催案内送付時にアンケートを配付し、意見を募ることとしたと報告された。

1 3. 第 3 回愛知県医師会選挙管理委員会 [11/29(火)] について

(501 会議室)

樫尾理事より、日本医師会代議員 2 名の欠員に伴い、名古屋地区 1 名、三河地区 1 名の補欠選挙を平成 29 年 3 月 18 日(土)の第 178 回(臨時)代議員会にて行う。タイムスケジュール等の確認をし、告示は愛知医報 2 月 15 日号、3 月 1 日号で行うことが決定したと説明された。

1 4. 男女共同参画委員会 [12/1(木)] について

(801 会議室)

伊藤(富)理事より、イクボス大賞候補者 12 名に関し活発な検討が行われ、平成 29 年 2 月までには受賞者を決定したいと報告された。また、第 13 回男女共同参画フォーラムのプログラムについても各側面からの討議が行われたが、原案に対する大きな変更はされなかったと説明された。県下四大学医学部で男女共同参画に関する講義が実施されていることが確認され、次年度もカリキュラムに入る模様であると報告された。

1 5. 治験審査会 [11/18(金)] について

(801 会議室)

樋口理事より、継続審査 4 件(双極 I 型障害 1 件、統合失調症 2 件、アルコール依存症 1 件)については、すべて承認されたと報告された。その他、終了報告 1 件(大うつ病性障害)について報告された。

1 6. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会 [11/22(火)] について

(801・802 会議室)

樋口理事より、11 月 16 日(水)に開催された「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第 2 回事例検討会」に、139 名の参加者があったと報告された。また、事例報告・検討(平成 28 年 10 月分)は、新規事例 100 件(No.16-592~16-691)継続相談 36 件 総計 137 件(歯科 1 件)であったと報告され、「白内障手術前の IC 不足による苦情」「新生児に対する採血方法に関する苦情」「つわりによる傷病手当金申請のための診断書作成依頼」「がんの見落としによる死亡事例」等、8 件について検討を行ったと報告された。

1 7. 救急小委員会 [11/22(火)] について

(7 階研修室)

細川理事より、第 35 回救急医療・災害医療シンポジウムについて議論し、テーマ

については、「マスギャザリング(多人数の集団形成)における危機管理」とすると報告され、詳細については、平成 29 年 1 月までに決めていく予定である説明された。

18. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1～7 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	11/2(水) 11/25(金) 11/30(水)	平成 28 年度(第 36 回)難病講習会	61 名 115 名 136 名	樋口理事 細川理事
2	11/25(金)	健康教育講座(地域開催)(豊川市民プラザ)	55 名	吉田理事 瀬瀬理事
3	11/26(土) 12/1(木)	社保集団指導講習会並びに医療安全説明会 中区役所ホール ライフポートとよはし	438 名 246 名	加藤理事 樋口理事
4	*11/27(日)	愛知県歯科医師会・愛知県医師会 平成 28 年度 第 2 回医療連携講演会	257 名	浅井理事 森理事
5	12/2(金)	産業医研修会(職場巡視)	25 名	西山理事 樫尾理事
6	12/4(日)	かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会	45 名	西山理事 樫尾理事
7	*12/5(月)	医療安全に関する講演会	268 名	森理事 浅井理事

【行政、その他関係団体等会議について】

19. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔11/28(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：中産連ビル新館 8 階会議室)

城副会長より、開設者変更 8 件についての説明とともに、新規(医科)4 件については特に問題は見られず、全て承認されたと報告された。

20. あいち健康の森健康科学総合センターのあり方検討会議〔11/29(火)〕について

(愛知県主催：あいち健康プラザ)

城副会長より、あいち健康プラザは、平成 10 年に 270 億円かけて全館オープンしたが、今後施設を維持していくには、運営費が年間約 9 億円、維持更新費が 20 億円必要とされていると報告された。健康館のプールの老朽化、健康科学館の展示物の陳腐化、健康宿泊館の利用率の低迷、アトリウムの光熱費の負担などが問題となっており、減築、オレンジタウン構想との関連について検討され、平成 29

年3月に方向性を決定する予定であると説明された。

野田理事より、オレンジタウン構想について、赤字経営の上にもますます経営が困難となるのではないかと質問され、城副会長より、あいち健康プラザとは切り離しての構想であると応えられた。野田理事は、一つの地域を限定して、認知症に対してのまちづくりを行うことに疑問を感じると発言された。山本副議長より、希望的観測として、理想的なまちづくりをし、ノウハウが蓄積できた暁に、全国に発信していきたいということであると補足発言がなされた。

**2 1. 平成 28 年度第 3 回愛知県医療審議会医療法人許認可部会〔11/21(月)〕について
(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)**

城副会長より、医療法人の設立申請は、医科 12 件、歯科 10 件で、全医療機関において問題はなく、許可となったと報告された。また、平成 28 年 4 月から 10 月までの法人設立は 21 件、解散 6 件、転出 1 件(静岡県)であったと併せて報告された。

2 2. 学校給食における食物アレルギー対応に関する第 2 回検討委員会〔12/5(月)〕について

(愛知県教育委員会主催：愛知県東大手庁舎)

瀨瀨理事より、12 月 5 日(月)に愛知県教育委員会健康学習室の主催で開催され、来年 1 月から配付予定の保護者向け「学校生活と食物アレルギー」のリーフレットについて意見交換を行い、一部の文言を変更することとなったと説明された。その後、学校における食物アレルギー対応に関する調査結果について報告があり、エピペン所有率、使用件数、使用者等について資料に沿って説明され、28 年度における愛知県でのエピペン使用はすでに 30 例あったと報告された。

**2 3. 平成 28 年度愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会第 3 回担当者会議(事後検討会)
〔11/30(水)〕について**

(愛知県地域振興部主催：県営名古屋空港)

細川理事より、10 月 20 日(木)に行われた総合訓練について、参加機関からのアンケートをもとに検証を行ったと報告された。また、次年度の総合訓練は、平成 29 年 11 月 2 日(木)に開催する予定であると説明された。

【その他事項について】

2 4. その他

・第 29 回(定例)理事会〔H29. 1/12(木)〕の開催時間の変更について

樫尾理事より、新年初の理事会であるが、終了後に新年会を企画しているため、開始時間を 15 時 30 分に変更する旨発言された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成28年12月8日